

議 事 録

会議名	令和5年度川西市総合教育会議(第3回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年7月29日(土) 10時00分から12時00分		
開催場所	多田公民館(川西市多田院1丁目5-1)		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、佐々木委員	
	関係職員		
	参加者	10名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加	
	事務局	企画財政部政策創造課 稲治課長、中郷副主幹、西寄主任、三嶋 教育推進部教育政策課 的場課長 教育推進部教育保育課 西山課長、岡坂担当課長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>総合教育会議は市と教育委員会が教育に関して議論する場です。教育大綱策定にあたり、みなさんからさまざまな意見をいただくためにこのような形での開催としました。教育の議論は範囲・認識も多様となり難しいので地域別に開催し議論しています。多田の子どもたちの教育を地域の皆さんと話していきたいと思っています。</p> <p>事前に各中学校と養護学校に伺い、児童・生徒との意見交流会を実施しました。教育というと幼児教育から生涯教育と幅広いですので、この場では前半に意見交流会で提案を受けたテーマと、後半に自由テーマで対話をさせていただきます。</p>
教育長	<p>教育委員会は教育長である私を含め5人で構成されています。本日はそこから3人が出席しています。教育委員会の責任者として本日出席させていただいています。</p>
坂本委員	<p>川西市でこどもを4人育ててきました。スポーツ少年団など地域との関わりもありますので、みなさんのご意見を聞けることを楽しみにしています。地域の親御さんと同じ目線で話していきたい。</p>
佐々木委員	<p>川西市在住で中学生のこどもを一人育てています。中学生の子どもを育てる親として実感していることを議論したいと考えています。</p>
事務局	<p>(以下の説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.事務局よりお願いとお知らせ 2.本日の流れの説明 3.テーマ設定のいきさつについて <p>【テーマ1:少人数授業について】</p>
市長	<p>子どもたちからの意見を聞くためにタブレットでアンケート実施しました。その中から挙げられてきた意見をもとに考えていきたいです。意見交流会では生徒からの提案を受けて意見を交換しました。結論を出すというわけではなく、今後も検討するということとしています。先生が違くと授業内容や進度に差が出るなど、子どもたちもこのテーマには意見を多く持っています。</p>
教育長	<p>少人数授業について教科は算数や数学、英語などを選んでいる学校が多いです。児童・生徒の希望・出席番号でクラスを分けるなど多様です。習熟度によりクラスを分けることもできますが、兵庫県も推奨はしていませんので、市も同様としています。ただ、クラスは分けても成績の評価が一定となるように配慮しています</p>
市長	<p>少人数授業のあり方は多様ですが、子どもたち自身がより良い選択が出来る環境を整えることが大切だと思っています。</p>
参加者	<p>習熟度で子ども本人が自身に合ったレベルを選択するのはよいと思いますが、定期テストは同じ問題が出され優劣がつきますので難しさを感じています。</p>
参加者	<p>学力の向上を主な目的として少人数授業を実施するのでは、塾などと同様ではないですか。学校教育だから学べる少人数授業のあり方は何かを知りたいです。</p>

発言者	発言内容等
教育長	<p>諸外国では学級は25人程度が適切となっています。昔は80人学級などもありましたが、効率良く学習できる環境を整えるために整備されたのが現行の学校教育です。</p> <p>子ども自身でカリキュラムを組むなど、新たな取り組みを先行して実施している自治体もあります。広島県ではドイツのイエナプランを取り入れ1～3年生が10人ずつで1クラスとし、異学年が教え合っています。また、大まかに1週間でここまで進みましょうというのはありますが、細かい決まりはなく、子どもに委ねていこうという考え方です。</p> <p>少人数授業は子どもによって合わない場合もありますので、単純に数を増やしていくことが正しいとも限りません。経済産業省では優秀な先生の授業について動画配信を行うなども推奨しています。</p>
市長	<p>学校の授業のあり方について、その他ご意見ありますでしょうか。</p>
参加者	<p>多田中学校では試験前に補習等行っていますので、良い取り組みだと感じています。塾などは夜遅くの送迎やコストの負担もありますので、義務教育を通じて最大限の効果が生まれる努力が必要だと思います。補習など様々な場があるなど子どもたちの多様な選択が生まれるようにしてほしいです。</p>
市長	<p>授業でわからなかった場合にどうするのかなど対応について、教員にだけ負担を担わせることはできません。塾などの代わりになる取り組みが義務教育の場でも出来ればと考えています。</p>
参加者	<p>興味があることを掘り下げたくても、子どもには難しい場合があります。その部分を手助け出来る環境があればと思います。</p>
参加者	<p>市内の特定の中学校をモデルとして、習熟度のクラス分けを徹底するなど、先生も含めて検証の場としてみてはどうですか。また、従来型、習熟度型など選択できるようにしてみてはどうですか。</p>
教育長	<p>中学生の自主学習についてはどの学校も実施しています。早朝の自主的な学習などもあります。高学年では、自身でテーマを決めるなどして、モチベーションを維持することが大切です。きんたくん学びの道場もモチベーションの高い子どもたちだけが来ている状況です。モチベーションを維持できない子どもをどう救うかが課題だと感じています。</p> <p>モデル校の実施について、先ほどお話しした「イエナプラン」を広島県福山市で全国で初めて公立校でやっています。福山市内の校区から希望者があれば抽選でやっていますが、希望者は非常に多いと聞いています。そのため、モデル校をつくるのであれば、校区に限らず平等に受けれる環境で実施すべきだと考えています。教育委員会としてはアクションプランのモデル校を指名し、異学年でやってみたり、90分授業でやってみる等のチャレンジをしたいと思っています。</p>
坂本委員	<p>子どもを4人育てていると、学習への取り組みもそれぞれで、習熟度で自身が選択できる環境が整っていることは大切だと実感しています。</p>
佐々木委員	<p>川西市がどんな課題があつて、少人数を取り入れたのかということに立ち返り、それに沿ったクラスの分け方が必要だと感じています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>知識の定着型の授業と、グループワークのような自ら発信をする発展型の授業を使い分けることが大切だと思います。</p> <p>困っている子どもをどのようにカバーするかなど、課題は沢山あると感じています。モデル校については、多田小学校で担任の先生をクラス単位ではなく、学年で設定する等、新たな取り組みをしています。批判等の議論がある大きいことは誰でも選択できる必要があるのかと思います。</p>
市長	<p>【テーマ2:給食について】</p> <p>小学校には各校に調理室があり、そこから各クラスに提供しています。中学校では、センターで一括して調理し配給するセンター方式で提供しています。こちらはアレルギー対応を高水準で行っていることが特徴です。給食費が1人1食290円というなかで、どのように運用するのが適切なのか、課題は何かを児童・生徒の意見をくみ取りながら考えていきたいです。</p>
教育長	<p>教育委員や専門職の職員とも議論していますが、栄養と安全、コストを考慮した給食を模索しています。その結果、給食の中で、ご飯の量が多くなっており、牛乳をセットととして提供しています。ただ、食の楽しさを重視することも大切だと感じており、現場との調整を行っています。</p> <p>児童・生徒の意見を反映できるよう、スピード感を持って対応していきたいです。</p>
市長	<p>重視する順番を変えるなど、臨機応変な対応が必要です。中学生の保護者の方から意見を聞きたいと思います。</p>
参加者	<p>給食を食べてから部活動が終わるまで、長い時間子どもたちが活動するエネルギーが続くようにしてほしいです。給食のメニューは高齢者向けのように感じていて、子どもにとってはパンチがないと感じています。そして、食べ残しも多いので、場合によっては給食は選択制でもいいと思います。持ち込みも許可されないので、現状のメニューでは満足出来ない子どもが多いと思います。日によって内容の差も激しいです。内容が充実していれば、コストを上げてほしいと考える保護者は多いと思います。</p>
参加者	<p>小・中学校の給食を食べてみたが、中学校の内容には不満を感じています。おかずが少なく、おいしくないのに、ご飯の量が多く、食べ残しも多いと聞いています。部活動の際、追加でご飯が必要なので、家庭での負担となっているとも聞いています。ふりかけの持ち込み等、一定の配慮があればと思います。</p>
教育長	<p>生徒へのアンケートの結果として、満足しているとの声も多いことはお伝えしておきたいです。</p> <p>一方で、給食の時間は配膳なども含めるので、短い時間で実施していることは問題だと認識しています。生徒の意見も取り入れ改善していきたいです。</p> <p>なぜ、ふりかけが良くないのかについては、アレルギー等の安全の問題があります。持ち込めるものの線引きも含めて考えていきたいです。コストについては、家庭の事情も考慮するが、苦慮する家庭への支援などは対応していきたいです。</p>
市長	<p>アレルギー対応をすることで、食の機会提供の幅を増やすことができます。子どもたちにおいしいと感じてもらうことを大切にしていきたいです。</p>

発言者	発言内容等
坂本委員	子どもたち自身がルールを作るなどして、給食のよりよい形を考えていければよいと思います。
佐々木委員	持ち込みの線引きについて、明確なルールを設ける必要はないと思います。保護者の意見としては、食べたいものを持っていけばよいと思います。コスト面につき、教育委員会側が価格帯毎の内容を提示すべきだと思います。
市長	持ち込みの線引きなど、学校と保護者で議論していただいてもいい部分はあります。 給食費の値上げをするにしても、単なる値上げとなつてはいけないと感じていたので、本日の議論は意味のあるものだと感じています。
市長	<p>【自由テーマ】</p> <p>意見交流会では子どもたちから様々な意見がありました。部活動では、活動時間をもう少し長くしてほしい、専門性の高い指導をしてほしいなどです。長期休暇については、冬休みを長くしてほしいという声がありました。自転車通学というテーマについては地域によりますが、電車やバスで通学している中学校では自転車通学をしたいなどの意見がありました。また、授業については、他の先生の授業を受けたいなどの声がありました。</p> <p>これらの問題にかぎらず、フリーなかたちでみなさんが感じられることを聞きたいと思います。</p>
参加者	LGBT 理解増進法について、教育現場に様々なかたちで入ってくるのが懸念されていると思います。学校の現場に過激な性教育を持ち込むことに懸念があり、心配しています。公衆トイレ等、女子のための施設がなくなっています。
市長	LGBTQへの配慮について、そのような方々全てが幸せになる社会をつくるということが私の使命だと思っています。 みんなのトイレについて、介護者にとっては必要だと思います。 また、教育の内容については、文部科学省から出ている範囲から外れることはありません。
教育長	学校現場ではLGBTQへの学習も進めているが、以前から制服の問題などではありました。みんなのトイレなど、誰もが使えるトイレがある環境にしていく必要があると感じています。 LGBTQ の立場の子どもが意見を表明したとき、対応できる施設や教育活動でありたいと考えています。
市長	多様性や共生社会というのは、みんなが幸せになることを考える必要があると思います。
参加者	川西養護学校に通っている子どもがいます。インクルーシブ教育を進めていますが、地域の子どもと接する機会が少ないです。地域に参加する機会を増やすことを検討していただけないでしょうか。 今後、隔てなく同じ敷地内に小学校、支援学校があるようにし、いつでも交流できるようにする予定はあるか伺いたいです。
教育長	個別の指導計画を市内で統一しようと考えており、来年度に完全移行となります。できるかぎり客観的、継続的な計画にしようとしており、特別支援学校と地域の学校との交流の機会を増やすことは必要だと感じています。

発言者	発言内容等
市長	<p>個人的には日常的に特別支援学校の児童・生徒と通常学級の児童・生徒が交流することは大切だと考えているので対応していきたいと思います。</p> <p>インクルーシブ教育は推進していくべきです。現場は一緒にいるだけでインクルーシブなんだと捉えがちなので、支援が必要な子どもたちの個別の特性に合わせて、同じ空間で学ぶ環境をつくるまでがインクルーシブだと考えています。できることから一つ一つやっていきたい。地域との交流は、子どもの将来のためにも重要なので担当と調整していきたいと思っています。</p>
教育長	<p>国が推進する動きはあります。</p>
参加者	<p>高校生を2人育てています。下の子が特別支援学級に通っていました。教育現場で働く先生の負担は増えていると感じています。子どもを持つ身として教育について勉強してきたが、最近先生に負担がかかる児童・生徒も増えていると感じています。川西市が先生を充実させ、教育現場を守っていくことにどのように力を入れていくのか教えていただきたいです。</p>
教育長	<p>学校現場の働き方改革は数年前から取組んでおり、部活動を午後5時までにするなど取り組みを進めています。業務がボランティアとらないようにしたい。</p> <p>教員のなり手不足で35人学級ができない自治体が出てきています。学校自体が抱えすぎている部分もあります。また、教員自身の意識改革や制度など抜本的な改革も必要であると感じています。</p>
市長	<p>教員以外でもできることはスクールサポートスタッフで対応するなど、改善していきたいです。その結果、できた時間は教員の質を高める取り組みに使いたい。その際、地域の皆さんのご協力も必要になると思います。</p>
参加者	<p>少子化が進み、学級が減っており、いずれは学校の統合等の話が出てくるのではと危惧しています。様々な事情はあると思うが、現在の環境を残してほしいと思っています。</p>
市長	<p>子どもたちの遊びのためにも、一定の人数を担保することは大切だと感じています。共働きの家庭が圧倒的に多いなかで、幼稚園を単独で残すという考えは正直我々にはなく、子ども園をどうしていくのか考えています。今後、適切な統廃合は行っていく必要があり、小中の統合など様々な選択肢を含め子ども幸せになるかたちを考えていきたいです。</p>
教育長	<p>学校教育の一つの目的に集団による学び合いというのがあるのならば、適正な規模は必要だと思っています。一定の集団を確保するための施策は今後検討する必要があります。子どもの学びの場としてどうなのかが大事だと考えています。ご提案のあった小中の一貫は賛成です。学年として横が少なくなっていくなか、縦で考えていくべきで、そういったかたちで地域に残していくのはいいと考えています。今後検討していきたいと思っています。</p>
坂本委員	<p>PTAの役員として長い間携わってきたが先生の負担は大きいと感じていました。子どもたちが元気になるためには先生方が元気でないといけないと感じています。微力ですが、先生方が笑顔で勉強を教えてくれるようお手伝いできればと思います。</p>
佐々木委	<p>等しくだれもが幸せになるべきこの世の中で、聞く機会を設け、他社の意見を尊敬しつつ、教</p>

発言者	発言内容等
員	<p>育の現場へ反映させていければいいと感じました。LGBTQ について、判例や裁判例がそれぞれのトピックで出てくるが、一般化できるものではありません。丁寧にみていく必要があると思います。</p>
教育長	<p>私が一番取り組まないといけないと思っているのが、こどもの意見を聞くことです。これまで子どもが意見をもって表明する機会を、子どもを守るという名目で奪っていたと感じています。私たちは子どもの意見表明できる場をつくり、子どもは議論することを学ぶ必要があると感じています。</p>
市長	<p>これから教育大綱を策定していきます。本日のお話いただいたことをふまえて、パブリックコメントなどへもご意見いただければと思います。</p>